

＜日本組織適合性学会誌 MHC の投稿規定＞

1. 投稿規定

1.1. 原稿様式

提出原稿がそのまま電算写植で印刷できるように、原稿は全て、コンピューターのフロッピーディスクとA4サイズとプリントアウトしたものの両者を提出する。一般的なワープロソフトを使用し、ソフト名を明記する。字体、サイズ、行の字数、行間、などの体裁は自由とする。また、図表については、写植でそのまま掲載できるものを提出するが、挿入箇所を本文に指定する。図については天地を明示する。印刷の際に、縮小または拡大する場合があるので、考慮すること。また、図表の題や説明はワープロで、本文とは別頁に添付する。

1.2. 原著論文

会員からの投稿を原則とするが、編集委員会が依頼することもありうる。日本語、英語を問わない。最初の一頁はタイトルページとし、タイトル、著者名、所属、脚注として代表者とその連絡先（電話、FAX、E-mail、郵便番号、住所）を記す。タイトル、著者名、所属は次の様式にしたがう。

Serological and nucleotide sequencing analysis of a novel DR52-associated DRB1 allele with the DR'NJ 25' specificity designated DRB1*1307.

Toshihiko Kaneshige¹⁾, Mitsuo Hashimoto²⁾,

Yayoi Murayama¹⁾, Tomoko Kinoshita²⁾,

Tsutomu Hirasawa¹⁾, Kiyohisa Uchida¹⁾,

Hidetoshi Inoko³⁾

1) Shionogi Biochemical Laboratories, Shionogi Company, Osaka, Japan

2) Kidney Transplantation Center, Hyogo Prefectural Nishinomiya Hospital, Hyogo, Japan

3) Department of Molecular Life Science, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan

HLA class II の DNA typing と MLC

能勢 義介¹⁾, 稲葉 洋行¹⁾, 荒木 延夫¹⁾, 浜中 泰光¹⁾, 阪田 宣彦¹⁾, 土田 文子²⁾, 辻 公美²⁾, 成瀬 妙子³⁾, 猪子 英俊³⁾

1) 兵庫県赤十字血液センター, 検査課

2) 東海大学医学部, 移植免疫学

3) 東海大学医学部, 分子生命科学

内容は、二頁目よりはじめ、要約 (Summary)、はじめに (Introduction)、材料と方法 (Materials and Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion)、参考文献 (References) の順に記載する。また、要約の末尾に日本語で5語以内のキーワードを加える（英文の場合には英語の Key words を加える）。脚注は適宜、設けてもよい。日本語で投稿の場合には、末尾に英語のタイトル、著者名、所属（様式は上述に従う）、英語の要約と英語で5語以内の Key words をつける。枚数に特に指定はないが、速報的な短報（全体で、2,000～3,000字、出来上がりA4版で2～4枚程度）を中心とする。もちろん、フルペーパー（full paper）も歓迎する。また、新対立遺伝子、日本人に認められた希な対立遺伝子に関する報告も受けける。なお、参考文献 (References) の記載については、下記1.5を参照すること、オリジナル1部にコピー3部を添えて、編集長宛（下記3参照）に送付する。

1.3. 総説、シリーズその他

編集委員会からの依頼を原則とするが、会員からの投稿も大いに歓迎する。日本語を原則とする。タイトル、著者名、所属は上記1.2.の通りにしたが、い、要約と要約の末尾に日本語で5語以内のキーワードを添える。その他の体裁は自由とするが、構成がいくつかの章、節などから成る場合には、次の番号に従い、適当な見出しを添える。

1. 2. 3. 4. ……………

脚注は適宜，設けてもよい．なお，参考文献 (References) の記載については，下記1.5.を参照すること．

1.4. 校正

校正は編集委員が行い，特別な場合を除き，執筆者は校正を行わない．

1.5. 参考文献

参考文献は，本文中に数字で，例えば (3)，の様に表示し，末尾にまとめて，次のようなスタイルで記載する．ただし，著者名，または編集者名は，筆頭3名まで記載し，以下は省略する．

1. Kaneshige T, Hashimoto M, Murayama A, *et al.* : Serological and nucleotide sequencing analysis of a novel DR52-associated DRB1 allele with the DR'NJ25' specificity designated DRB1*1307. *Hum. Immunol.* **41** : 151 - 160, 1994.
2. Inoko H, Ota M : *Handbook for HLA Tissue- Typing Laboratories* (eds. Bidwell J, Hui KM), PCR-RFLP. CRC Press, Boca Raton, 1993 ; p. 1 - 70.
3. 能勢義介, 稲葉洋行, 荒木延夫ら : HLA class II の DNA Typing と MLC, 輸血, **39** : 1031 - 1034, 1993.
4. 猪子英俊, 木村彰方 : 岩波講座分子生物科学11 巻, 生物体のまもりかた (本庶佑編), 自己と他の識別, 岩波書店, 東京, 1991 ; p.129 - 194.

2. 別刷

原著論文については，別刷は有料とする．その費用は部数，頁数による．

3. 原稿送付先

〒 259 - 1193 神奈川県伊勢原市望星台

東海大学医学部 分子生命科学系遺伝情報部門 日本組織適合性学会誌 MHC
編集長 猪子 英俊

TEL : 0463 - 93 - 1121 内線 2312

FAX : 0463 - 94 - 8884

E-mail : hinoko@is.icc.u-tokai.ac.jp

日本組織適合性学会からのお知らせ

日本組織適合性学会 会告

本年度の理事会並びに評議員会で、特別名誉会員制度を新たに設け、以下の方が推薦・承認されました。また、以下の7名の方が新評議員として承認されました。次頁の平成10年度決算並びに平成11年度予算案が承認されました。

特別名誉会員

氏 名	所 属
大 野 乾	City of Hope 研究所, 米国
ポール・テラサキ	California 州立大学 LosAngels 校、米国
根 井 正 利	Pennsylvania 州立大学, 米国

新評議員

氏 名	所 属
安 藤 麻 子	東海大学医学部 分子生命科学系分子生命科学 2
加 村 弘 美	名古屋第二赤十字病院 組織適合性検査室
多 田 正 義	大阪府立病院 組織適合性検査室
中 島 文 明	神奈川県赤十字血液センター
平 山 謙 二	埼玉医科大学医学部 医動物学教室
丸 屋 悦 子	京都府赤十字血液センター
森 島 泰 雄	愛知県がんセンター 血液化学療法部

平成10年度決算報告書

自 平成10年4月1日
至 平成11年3月31日

(収入の部)	予算	決算	差異
個人会員年会費	2,000,000	1,925,000	△ 75,000
賛助会員年会費	1,100,000	1,100,000	0
学会誌広告費	1,050,000	1,050,000	0
学会誌販売	50,000	28,780	△ 21,220
利息	16,000	11,144	△ 4,856
当期収入合計	4,216,000	4,114,924	△ 101,076
前年度繰越金	7,080,464	7,080,464	0
収入合計	11,296,464	11,195,388	△ 101,076

(支出の部)	予算	決算	差異
大会援助金	1,000,000	1,000,000	0
学会誌作成費	3,000,000	2,771,580	228,420
旅費	200,000	28,380	171,620
通信費	300,000	185,709	114,291
事務費	50,000	19,950	30,050
会議費	100,000	45,800	54,200
予備費	6,646,464	0	6,646,464
支出合計	11,296,464	4,051,419	7,245,045
当期支出合計	4,650,000	4,051,419	598,581
当期収支差額	△ 434,000	63,505	497,505
次期繰越金	6,646,464	7,143,969	497,505

平成11年度予算案

自 平成11年4月1日
至 平成12年3月31日

(収入の部)	平成11年度	10年度(決算)	差異
前年度繰越金	7,143,969	7,080,464	63,505
個人会員年会費	2,000,000	1,925,000	75,000
賛助会員年会費	900,000	1,100,000	△ 200,000
学会誌広告費	1,050,000	1,050,000	0
学会誌販売	30,000	28,780	1,220
利息	11,000	11,144	△ 144
当期収入合計	3,991,000	4,114,924	△ 123,924
計	11,134,969	11,195,388	△ 60,419

(支出の部)	平成11年度	10年度(決算)	差異
大会援助金	1,000,000	1,000,000	0
学会誌作成費	2,700,000	2,771,580	△ 71,580
旅費	200,000	28,380	171,620
通信費	200,000	185,709	14,291
事務費	20,000	19,950	50
会議費	50,000	45,800	4,200
事務委託初期費	180,000	0	180,000
事務委託費	400,000	0	400,000
予備費	6,384,969	7,143,969	△ 759,000
当期支出合計	4,750,000	4,051,419	698,581
当期収支差額	△ 759,000	63,505	△ 822,505
計	11,134,969	11,195,388	△ 60,419

編集後記

今年の春先、自宅療養を強いられていた時期（ケガをして動けなかった）にふとTVの電源を入れ画面を見ずにチャンネルを飛ばしていると、どこかで耳にしたことのある語り口が聞こえて来たので、おや！とそちらを見ると、なんと立派なおヒゲの紳士が登場しているではありませんか。そう、16ch放送大学で大野乾先生の講義だったので。まさか、こんなところで拝見できるとは思ってもみなかったのですが、講義途中からだだし、7月の第8回日本組織適合性学会では本物にお会いできるからと、そこそこに他のチャンネルにしてみましたところ、皆さんもご存じのとおり、肝心の学会には体調不良とのことでお見えになれず非常に残念な思いをしました。

この学会の「大野乾シンポジウム」で五條堀先生が「大野先生の壮大なテーマからすれば、僕らの研究は先生の手のうちで転がされている程度のもの」と話されていたことが印象的でした。

まあ、その僕らにできることは日々の小さな積み重ねでもあるし、そういったことを速報というかたちで本誌にご投稿願えれば幸いです。

中島文明

MHC バックナンバーについては、学会事務局へお申し込み下さい。

一冊¥2,000で購入可能です。発行より2年を経過したものは在庫が少数になっている場合もありますのでお早めをお願い致します。

MHC

Major Histocompatibility Complex

Official Journal of Japanese Society for Histocompatibility and Immunogenetics

1999年11月31日発行 6巻2号, 1999

定価 2,000円

発行 日本組織適合性学会（会長 片桐 一）

編集 日本組織適合性学会編集委員会（編集担当理事 猪子 英俊）

平成8年7月24日 学術刊行物認可

日本組織適合性学会事務局（事務担当理事 十字 猛夫）

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-31 日赤血液センター内

印刷・（株）栄文舎印刷所

〒229-1101 神奈川県相模原市相原2-12-1